

『1億年の大地と生命の記録』を 今に伝える『海に浮かぶ博物館』です

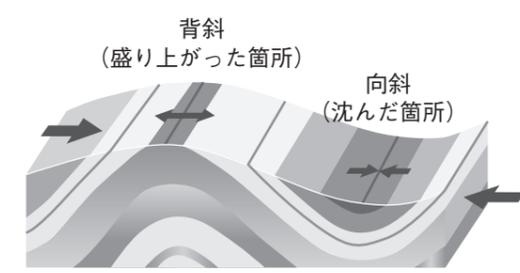
『天草ジオパーク』の魅力をこう表現するのは、市立御所浦白亜紀資料館の長谷義隆館長です。なぜ、そうなのでしょか。詳しく話を聞きました。

きれいな地層構造を
わかりやすく観察できる。
化石も豊富

まずは皆さん、1枚の紙を両手で持って、両側から圧力をかけてみてください。紙はたわんで、ふくらんだりへこんだりすると思います。この現象が地層で起きることを、**褶曲**とい

います。天草の地層は、火山活動や地殻変動によって、この褶曲した構造になっているんです。ただ、これは日本中のどこでも起こっている現象。重要なのは、天草の場合はとてもきれいな褶曲構造をしていて、そのことをわかりやすく観察できるということなんです。

◆褶曲のしくみ



そして、この褶曲した各年代の地層からは、世界的にも珍しい1億年前の恐竜をはじめ、8,500万年前のアンモナイト、5,000万年前の大型ほ乳類など、その時代のようなすを知ることができる化石が、豊富に見つかります。

「石」資源と 天草特有の生態系

また、泥炭の層が発達し、地熱の作用で炭化が進んだ質の良い「天草無煙炭」(石炭)、砂がたい積して固まった岩石「下浦石」、マグマの活動によってできた「天草陶石」、阿蘇山大噴火の火砕流でできた「御領石」などの「石」資源が豊富で、これらを活用し産業や文化がはぐくまれたことも、天草ジオパークを特徴づける重要な要素のひとつです。

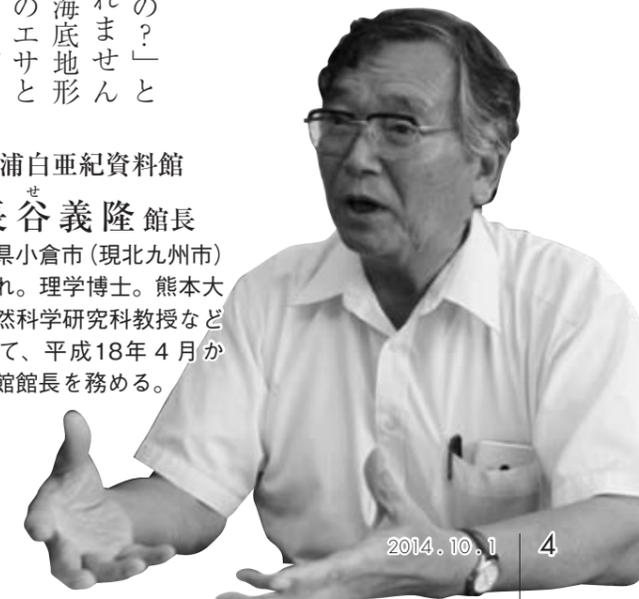
そして、天草特有の生態系にも地形・地質が関係しているんです。たとえば、五和町の二江沖に生息しているミナミハンドウイルカ。「イルカとジオパーク

に何の関係があるの?」と思われるかもしれませんが、起伏に富んだ海底地形によって、イルカのエサとなる小アジやイカなどが豊富であり、これが、イルカが生息している理由のひとつといわれています。

教育や地域振興の 寄与に期待

ジオパークは、貴重な地層や岩石、動植物、歴史・文化などを保護し、学校や社会での教育をはじめ、交流人口の増加による地域の

御所浦白亜紀資料館
は 長谷義隆 館長
福岡県小倉市(現北九州市)生まれ。理学博士。熊本大学自然科学研究科教授などをへて、平成18年4月から同館館長を務める。



活性化に寄与することが期待できます。また、最近では地震や土砂崩れなど自然災害の防災分野に、ジオパークを役立てていこうという動きもあります。

今回、天草ジオパークが日本ジオパークに認定されたことよって、まずは天草に住む皆さんがそのすばらしさを再確認し、誇りに思い、そして発信していくきっかけになればと思っています。

ジオパーク的

“天草1億年の記録”

天草地域で見つかった化石や地層などの調査・研究をもとに、天草の1億年を古い順に振り返ってみましょう。

※年代はおおよそになります。

年代	できごと	イラスト
1億年前	地下深い場所でマグマが冷え固まってできた岩石が地表に顔を出し、陸地ができました。そこには恐竜が住み、浅い海には貝類が生息していました。	
8,500万年前	陸地は急速に沈み、深く暗い海になりました。そこにはアンモナイトや大型の二枚貝が生息していました。その後、6,600万年前に恐竜は絶滅しました。	
5,000万年前	水が豊かな熱帯の陸地が広がり、大型ほ乳類が繁栄しました。その後、1,000万年という期間で大地は上下に何度も変動。この時代の大型ほ乳類は絶滅しました。	
4,000万年前	天草下島では泥炭の層が発達。これが後に「天草無煙炭」と呼ばれる良質な石炭になりました。天草上島では砂がたい積。これが後に「下浦石」と呼ばれるようになります。	
1,900万年前 ～ 1,400万年前	火山活動や地殻変動が起きて、天草の原形ができあがりました(褶曲構造の形成)。また、火成活動が起き、冷え固まると白色になる性質のマグマが地下から上昇しました。これが後に「天草陶石」となります。	
300万～ 180万年前	火山活動が活発になり、噴火による火砕流や土砂が大矢野島北部や天草下島北部でたい積。その後、大地が隆起して平坦面を作りました。この平坦な地形を利用して作られたのが、天草空港です。	
9万年前	阿蘇山が大噴火を起こし、火砕流は天草下島北部まで到達。これが後に「御領石」と呼ばれるようになります。	
2万年前	有明海と八代海は海ではなく、草原や森林が広がっていました。	
5,000年前	海水面が上昇し、現在の天草の姿になりました。	
1,600年代	天草陶石を活用した陶磁器の生産が始まりました。	
1,800年代	石炭の採掘が始まりました(1975年まで)。	

平成26(2014)年8月28日 『天草ジオパーク』が日本ジオパークに認定!

監修: 御所浦白亜紀資料館